



「保育士になりたい」

三沢小5年(4年生の時の作品です)

反町 萌さん  
めぐみ



わたしには、ゆめがあります。それは、保育士になることです。なぜかというと、赤ちゃんや、小さい子が好きだからです。世話をしたり、いっしょにあそんだり、いろいろなことを教えたりしてみたいです。今は、三才くらいから、五才

六才くらいの子達とよく遊びます。どんな遊びかというとおにごつこのようにその遊ぶ子たちより少しおそく走って、おいかけます。そして、だんだん走るのを速くして、つかまえます。そういう子たちがにこにこしてくるのが、うれしくて、かわいくて、好きです。でも、男の子だと、なぐつたり、けつたりする力かげんがわからないので少しいたいです。

おもしろいと思うことは、お母さんのすることを、まねしているところを目にすると、(よく見ているな)と感心します。わからないけれど、やってみたいきょうみがわくんだと思います。

わたしは、歌も好きなので、子どもたちといろんな歌を歌ってみたいです。

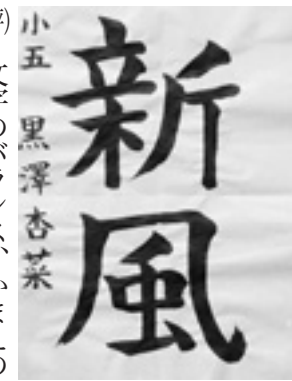
保育士になるゆめをかなえるために、学校の勉強をがんばります。それから、三沢小の友だちの弟や妹たちのお世話をしてあげたいと思います。

(評) 小さい子たちの様子をよく見て、その事を上手に表現しています。



皆野小6年(5年生の時の作品です)

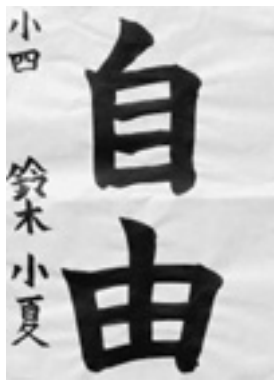
黒沢杏菜さん  
あんな



(評) 文字のバランス、かまえの形に気をつけて、ていねいに書きました。

皆野小5年(4年生の時の作品です)

鈴木小夏さん  
こなつ



(評) 画と画の間に気をつけてきれいに書けました。

「スキーにいったこと」

皆野小2年(1年生の時の作品です)

吉岡美朱さん  
みあ

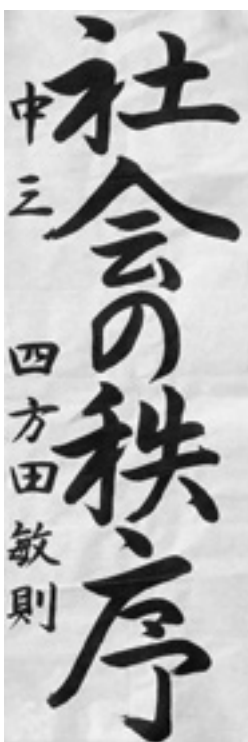
(評) お母さんといっしょにスキーをしたのしかったですね。



「社会の秩序」

高校1年(中学3年生の時の作品です)

四方田敏則くん  
としのり



(本人のコメント) 私は、小学校から習字に通っていました。最初の頃は、とても嫌いだっただんぜん楽しくなってきました。楽しくなっていくと同時に、文字が少しずつ上達していくのが感じられました。初めて賞が取れたときは今でも心に残っています。そして、今回中学校の最後に特選に入賞しても良かったです。